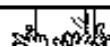




読書の方法を知っている人はすべて、自分自身を拡大し、存在できる道を増やし、人生を有意義で、面白く、最大限に活かす力をもっている。(オルダス・ハクスリー=小説家)



「打って出る司書」の市町村訪問 252館室 (2月末現在)

今年度も県立図書館の司書が「打って出る司書」として市町村を訪問していることは、この紙面で紹介してまいりました。昨年度は119館室を訪問しましたが、今年度は2月末現在252館室となっています。

＜形態別訪問回数＞

	[巡回訪問] 全市町村立図書館・図書室訪問	[運営課題解決サポート] 市町村の求めに応じて訪問	[研修等のサポート] 市町村の求めに応じて随時対応	計
県北	55	3	5	63
県央	79	6	16	101
県南	72	0	16	88
全县	206	9	37	252

＜「打って出る司書」による情報提供とその活用例＞

例	市町村訪問時に行った情報提供など	その後の市町村立図書館等の対応・活動の変化
1	館内のレイアウト改善や新規コーナーの設置を助言	課題解決のために「子育てコーナー」と「teens'コーナー」を新たに設置した
2	新館建築に伴う新館のレイアウト、移転準備のための資料整理の仕方を助言	平成27年新館開館に向けて、現在、2館が準備を行っている
3	外部機関との連携方策を助言	小学生の消防署見学で出前読み聞かせを実施した

「打って出る司書」たちは、「訪問回数が増えたことで、各館室の様々な取組を見ることができました。」と話しています。

大館市立中央図書館は8月から、ブログ、ツイッターによる情報を開始していること、横手市立図書館は、市内図書館にキャッチコピー（横手図書館「私の第二の書齋 横手」、増田図書館「蔵し・人・本・ふれあい増田」、大森図書館「緑薫る心地よい森の図書館」等）を付けて、親しみやすい図書館にしていることなどを、他館に紹介してきました。

また、今年度は、訪問回数を増やしたわけではありません。地区ごとに専任担当者を置くことで、前回訪問と比較した助言や情報提供ができるようになりました。「訪問してくれる司書と顔なじみになったので気軽に相談しやすくなった。」という市町村のみなさんの声も聞こえてくるようになりました。

来年度も、同じような形態及び回数で市町村訪問をする予定です。どうぞ地域の読書活動の推進にご活用ください。

上小阿仁村 出前研修をフル活用

村立図書館&中学校図書館

今年度、上小阿仁村立図書館は「打って出る司書」による出前研修を2回利用し、学校図書館の環境づくりを行いました。

5月の研修会では、学校図書館担当職員やボランティアの方々も一緒に「学校図書館の基礎」「展示ワークショップ」を行い、7月には、中学校図書館を会場に「ビフォー&アフター」の研修を行いました。中学校の担当教員と、生徒たちが利用しやすい図書館に模様替えする作業をしました。

例えば、プレイルーム内にある図書室は周囲と仕

切りが無く、大きな黒革のソファーが書架の前に置かれているため、そこだけ重々しい印象でした。そこで、ソファーの代わりに木製ベンチを置いて、軽く明るいイメージにしました。移動したソファーは窓際に置き、静かにゆっくり読書するスペースを作りました。



ビフォーの状態



アフターの図書室の様子

進んでいます! 「子ども読書活動推進計画」の策定

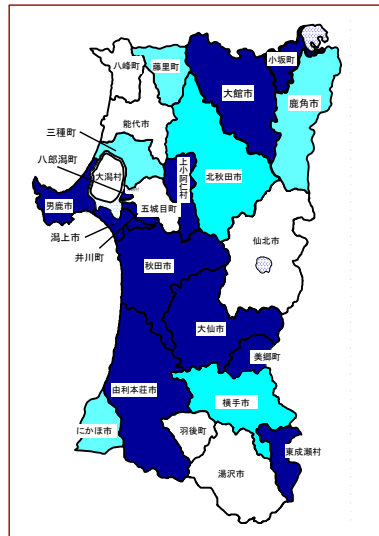
県は、生涯にわたって読書に親しむことができるように、幼少期から読書習慣を形成できる環境の整備・充実を図ってきました。その一つが、市町村の読書活動の拠り所となる「子ども読書活動推進計画」の策定支援です。

平成26年3月末現在の各市町村の策定状況調査の結果をまとめましたので、お知らせします。

この一年で、新たに、藤里町、横手市、五城目町が策定を終了し、3月末までに、北秋田市、にかほ市、八峰町も計画完了予定です。また、能代市、仙北市、羽後町が策定作業に入っています。

今後も情報提供等で計画の策定をサポートしてまいります。

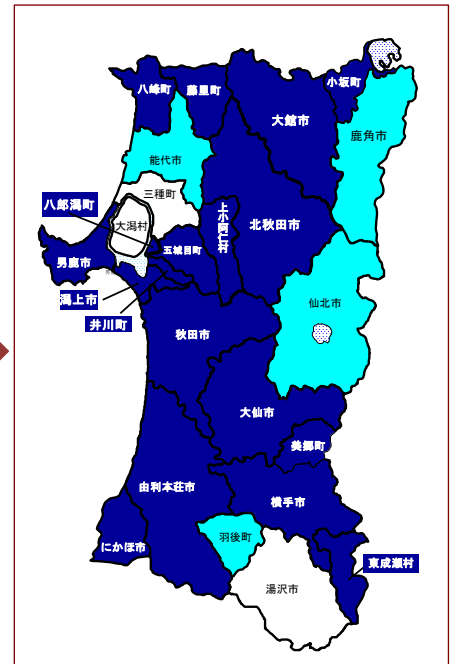
今回、「子ども読書の日」(4月23日)に関わる読書の取組調査も行いましたが、24市町村が図書館や学校で、子どもたちが読



■ 策定済み ■ 策定作業中

平成25年4月1日現在の策定状況

書に親しむことができる取組を計画しており、地域の読書活動の充実ぶりがうかがえます。今月中に周知ポスターを配付する予定ですので、広報にご活用ください。



一年後

平成26年3月31日現在の策定状況
(北秋田市・にかほ市・八峰町は完成見込み)

	H22	H23	H24	H25
市町村数	20	23	24	24
取組件数	84	124	168	171

「子ども読書の日」に関する読書活動を予定している市町村数と全县の総取組件数

平成25年度 秋田県高等学校図書館報コンクール 審査結果

高等学校の図書館報は、図書委員会等の生徒たちや担当職員の手によって作られた、学校図書館の活動をまとめた広報紙です。

毎年この時期に、各校で発行した図書館報のコンクールが行われ、33回目となる今年度も力作が揃いました。どの作品も、写真やグラフを効果的に用いたり、割付や見出しを工夫したりしながら、図書委員会の活動の様子、お薦め本の紹介、貸出しランキングなどを伝えていました。

2月10日(月)～23日(日)の期間、県立図書館のエントランスホールに全作品を展示しました。来館者は、「高校生が本に興味をもって、地域で活動をしていることを初めて知りました。」(70代女性)「こうして並べてみると、高校生に人気のある本や読書傾向が分かっておもしろいね。」(50代男性)「本の貸出しだけでなく、本の魅力を伝えるために様々な挑戦をしている学校があるんですね。」(60代女性)と感心しながら見ていました。

- 【最優秀賞】大曲高等学校「天狼星(シリウス)」
- 【優秀賞】六郷高等学校「白い雲」
- 【読書推進賞】大館国際情報学院高等学校「図書館報」
- 【図書委員活動賞】五城目高等学校「五高図書館報」
- 【図書委員活動賞】大曲工業高等学校「大工図書館報」
- 【図書館運営賞】湯沢翔北高等学校「拓(ひらく)」
- 【企画賞】秋田中央高等学校「緑園」
- 【割付賞】平成高等学校「平成高図書館報」
- 【アイデア賞】雄物川高等学校「あしかび」
- 【奨励賞】大館鳳鳴高等学校「図書館報」
- 【奨励賞】二ツ井高等学校「玲瓏(れいろう)」
- 【奨励賞】能代高等学校「たかはな」
- 【奨励賞】能代西高等学校「しらかみ」
- 【奨励賞】秋田商業高等学校「図書館報」
- 【奨励賞】本荘高等学校「明窓浄几」

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>